市報
にいがた
平成7年
11月12日
第1498号
発行日 毎週日曜日　発行 新潟市　〒951 学校町通1-602-1　編集 総務部広報課　印刷 ㈱第一印刷所

市の人口 〈10月末現在〉

人口	484,618人	(+200)
男	235,389人	(+141)
女	249,229人	(+59)
世帯数	176,192	(+220)

住民基本台帳による。（）は前月比

国保運営協議会

国保料改定を答申
中間所得層の負担軽減

長谷川市長に答申書を手渡す国保運営協議会松村克己会長（中）と川島重信副会長（右）

市国民健康保険運営協議会（松村克己会長）は、国民健康保険料率と保険料賦課限度額の見直しを内容とする答申をまとめ、十月二十六日、長谷川市長に答申書を手渡しました。市では、答申を基に低所得者層の激変緩和措置を盛り込んだ国民健康保険条例の改正案を十二月定例市議会に提案する予定です。

答申の内容は、①保険料のうち所得割率を現行の十一・八％を七・五％に引き下げる②均等割率（被保険者一人当たり）を現行の一万八百円を二万四百円に、平等割額（一世帯当たり）を現行の一万八千円を三万三千円に引き上げる③保険料賦課限度額を四十四万円を五十二万円に段階的に引き上げ、八年度は四十八万円とする――というものです。

これにより、応能割（所得割）に比べ応益割（均等割と平等割）が拡大し、低所得者の負担が増えるため、応益割に対する「七割、五割、三割」の軽減措置（法定）に対し、市独自の軽減措置を加えた諮問案にさらに上積みした「七・七割、五・七割、三・七割」の軽減率が答申されました。

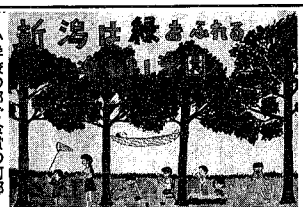
また、答申では、この措置の対象となっても、負担増が大きくなる世帯については激変緩和を講じるよう求めるとともに、これらの財源として一般財源の繰り入れを考慮するよう付帯意見を付しています。

300～600万円の所得層で平均5万円の減額

これらの見直しは、現在、中間所得層に大きな負担になっている保険料を是正しようというもので、答申どおり改定が実施されると総収入五百万円程度の世帯で保険料が十一万円下がる世帯があるほか、総収入三百万～六百万の世帯層では、平均五万三千四百円の減額になります。一方、賦課限度額の引き上げにより、賦課限度額に達する世帯は二人世帯で八年度は総収入七百六十二万四千円以上の世帯層になり、被保険者間の均衡が図られるようになります。

答申を基に市では、これらの内容の国民健康保険条例の改正案を十二月定例市議会に提案する予定です。

緑豊かな街にな～れ
小・中学生の緑化ポスター



小学校の部で金賞の阿部恵子さん（坂井東小6年）と作品

緑豊かな街を小・中学生した緑化ポスターの入選作に表現してもらおうと、㈶市都市緑化推進協会が募集品が決まりました。

応募数八十六作品から選ばれたのは十三作品。応募全作品は十一月十五日まで天寿園ホールで展示しています。（午前九時～午後五時、十三日は休園）

入選作品は次のとおりです。（敬称略）

◉**小学校の部** ▽金賞 阿部恵子▽銀賞 山倉希衣子（丸山小四年）、工藤英里子（赤塚小五年）▽銅賞 風間理美（丸山小五年）、中原梨絵（赤塚小六年▽特別賞 西山真樹（長嶺小三年）、大場めぐみ（浜浦小六年）、松崎麻子（赤塚小六年）、池田由香里（山の下小六年）

◉**中学校の部** ▽金賞 斎藤裕子▽銀賞 塚原和俊（白新中二年）▽銅賞 渡辺沙里（二葉中三年）▽特別賞 守木麻貴（二葉中二年）

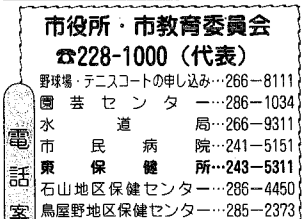
中学校の部で金賞の斎藤裕子さん（二葉中1年）と作品

市職員（清掃業員など）募集
申し込みは20日まで

試験日 十二月十日
試験会場 市立高志高校
職種 診療放射線技師、清掃作業員等、用務員、給食調理員A、給食調理員B
受験資格
〈診療放射線技師〉 昭和四十年四月二日以降の生まれで診療放射線技師免許取得者または平成八年に免許取得見込みの人
〈清掃作業員等、用務員、給食調理員A〉 昭和四十年四月二日から同五十三年四月一日までに生まれた人
〈給食調理員B〉 昭和四十年四月二日から同五十三年四月一日までに生まれた人で調理師免許取得者
試験内容（一次） 診療放射線技師は筆記試験（教養・専門）と適性検査、そのほかは適性検査
試験案内・申込用紙 人事課または地区事務所で配布。郵送希望の人は、返信用封筒（長形三号、あて先記入し、八十円切手を張る）を同封し、請求する封筒に「案内請求」と明記。
申し込み 十一月二十日（郵送による申し込みは十一月二十日の消印有効）までに人事課（学校町通一六〇二一一本館四階☎内線2074番）へ

新崎 18日から新町名
すみれ野1～3丁目

問い合わせ 自治振興課（☎内線2404番）へ



この道一筋 ⑦
建具職人 高橋孝一郎さん（84歳、三和町）

十八歳から建具職人の道に。七十歳で退職後もシルバー人材センターで腕を生かし活躍中。

「シュル、シュル」と小気味のよいかんなの音。年期の入ったかんなやのみを巧みに操り、見る見るうちに立て付けを直してしまう高橋さん。建具職人の道に入ったのは十八歳のとき。

「初めの一年間は給料は無し。ひたすら仕事を覚えよう と、必死になって親方の当時を振り返ります。

職人としてあぶらの乗ってきた昭和十九年、海軍に入隊し舞鶴へ。その後、大阪の軍事工場で航空機の部品を製造していたとか。終戦後は資材の不足から建具の仕事もなく、しばらくは別の職に就いていました。昭和二十七年、建具職人に復帰した後はこの道一筋。

職人は道具がかなめ

言う高橋さんが使っている道具は四十年も使い込んだ物ばかり。「腕を生かすにも、道具の手入れは欠かせません」と基本を怠らない姿勢に技が光ります。

※係から この欄に登場する人の情報を広報課へお寄せください。

市役所・市教育委員会
☎228-1000（代表）

電話案内

野球場・テニスコートの申し込み	266－8111
園芸センター	286－1034
水道局	266－9311
市民病院	241－5151
東保健所	**243－5311**
石山地区保健センター	286－4450
鳥屋野地区保健センター	285－2373
北地区保健センター	259－7332
西保健所	**266－5171**
西地区保健センター	262－3405
坂井輪地区保健センター	260－3255
急患診療（市医師会・県歯科医師会）	
急患診療センター	228－2822
休日歯科診療センター	283－3030

電話加入権の公売
日時 11月14日午前10時
会場 市役所本館1階101会議室
※公売は入札により行います。買い受け代金は、当日午後1時までに現金で納めてください。
問い合わせ 納税課（☎内線2366番）へ

中小企業向けの年末資金貸付
期間 来年1月4日まで
融資対象 市内に住所または事業所があり、引き続き1年以上同じ事業を営む運転資金を必要とする中小企業者
貸付額 700万円以内
利率 信用保証付は年1.75％、そのほかは年2.25％
返済期間 6カ月以内（月賦返済）
申し込み 市内金融機関
問い合わせ 商工振興課（☎内線2522番）へ

園芸センター 冬囲い講座
日時 十一月十四・二十八日午後一時半～三時半
内容 松の雪つりとワラボッチ作り
定員 先着各五十人 ※「洋ラン展」を十一月十八・十九日午前九時～午後四時半まで開催